

乳児期発症から 10 年間通院し IgE 低下と皮膚状態の安定に至った小児アトピーの経過 (11 歳男児)

症例 ID：001-11-YK7 | 記録日：2016 年 1 月 11 日

1. 診断・治療前経過

生後すぐからアトピー性皮膚炎と鼻炎があり、生後 1 歳半の 2006 年から松本医院への通院を開始しました。通院後には気管支症状や喘息が出た時期もありました。

父親が約 2 週間ごとに受診して近況を伝え、約 10 年間治療を継続しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	不明です。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	不明です。
中止時期	不明です。
来院前／後	不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後すぐ	発症	アトピー性皮膚炎と鼻炎が出ました。
2006 年・1 歳半	治療開始	松本医院への通院を開始しました。
2011 年 8 月・6 歳	ピーク	外見上の皮膚症状が最も強くなり、IgE は 4,590 IU/mL でした。
2013～2014 年	検査値の変化	IgE は 539～629 IU/mL となりました。
2015 年正月	喘息	帰省中に喘息を発症し、夜間に救急受診しました。
2015 年 11 月	長期経過	IgE は 242 IU/mL となり、外見上の症状も安定していました。
2016 年時点	治療終盤	約 10 年間通院し、治療は終盤と考えられる状態でした。

4. ピーク時期

ピークは、2011 年 8 月の 6 歳時に外見上の皮膚症状が最も強くなり、IgE が 4,590 IU/mL を示した時期です。

5. 困りごと

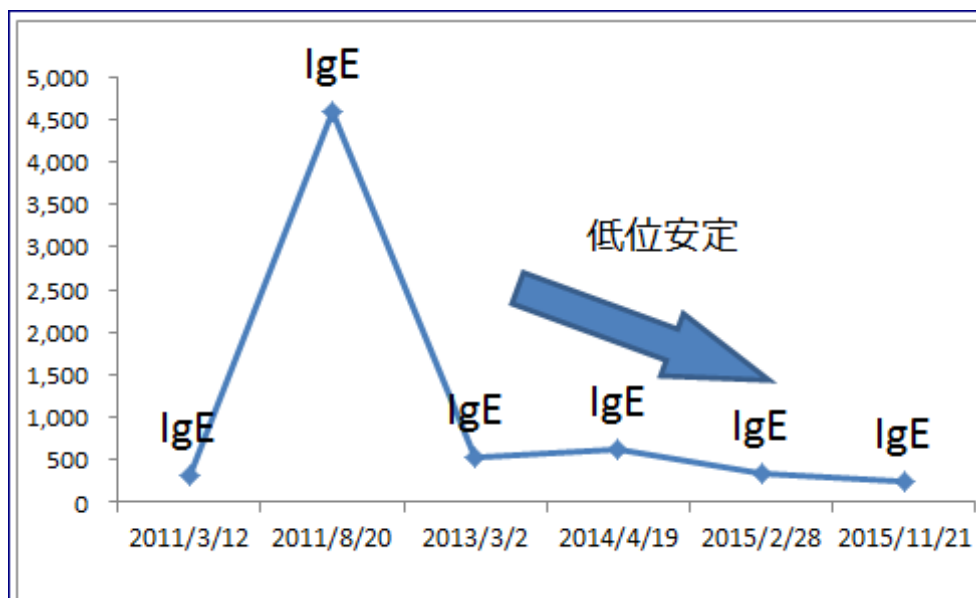
- ・乳児期から長期間にわたり治療を継続しました。
- ・皮膚症状に加えて鼻炎、気管支症状、喘息が出る時期がありました。
- ・2015 年には喘息で夜間に救急受診しました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中の記録として掲載しています。

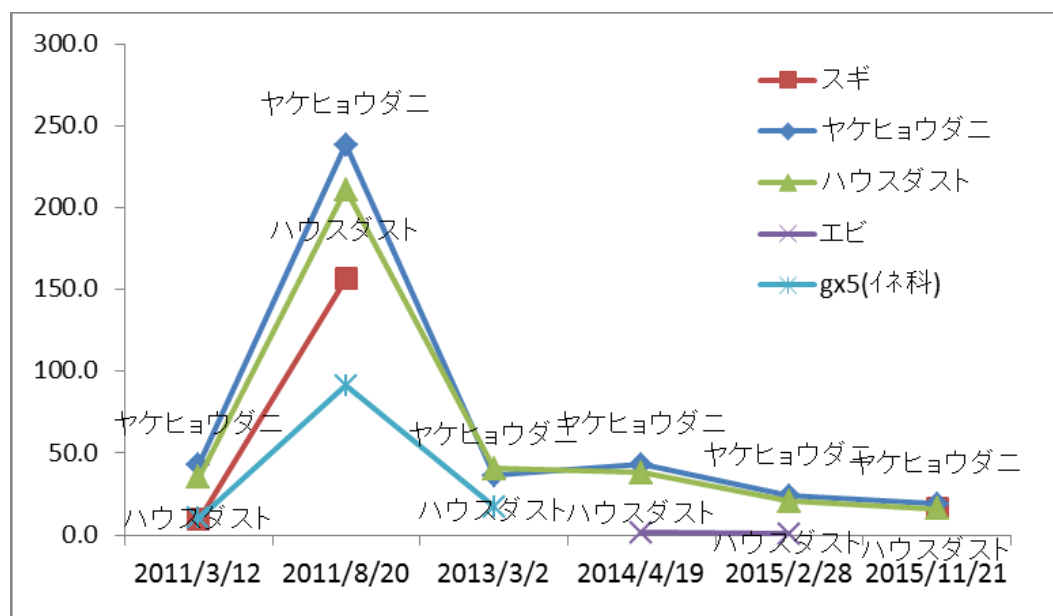
(1) 検査値

検査日	H23/3/12	H23/8/20	H25/3/2	H26/4/19	H27/2/28	H27/11/21
非特異的 IgE	307	4590	539	629	347	242
ダニ	43.3	238.5	36.4	43.3	23.9	19.0
ハウスダスト	35.4	211.0	40.5	38.3	20.5	16.2

(2) 検査値グラフ



経過中の IgE の推移。



経過中の個別項目の推移。

7. 経過のまとめ

2011年8月には皮膚症状が強く、IgEは4,590 IU/mLでしたが、2015年11月には242 IU/mLとなり、外見上の皮膚状態も安定しました。喘息で救急受診する時期はありましたが、約10年間の通院を継続し、2016年時点では治療の終盤と考えられる状態でした。

本ページは患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の結果を保証しません。